



2026年1月期 第1四半期決算短信(日本基準) (非連結)

2025年6月9日

上場会社名 株式会社 アルトナー

上場取引所 東

コード番号 2163 URL <https://www.artner.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第1四半期の業績(2025年2月1日～2025年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	2,847	7.6	518	9.1	519	9.2	360	9.1
2025年1月期第1四半期	2,646	6.1	475	0.6	476	0.6	330	0.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	33.96	—
2025年1月期第1四半期	31.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	6,766	4,622	68.3
2025年1月期	6,687	4,708	70.4

(参考) 自己資本 2026年1月期第1四半期 4,622百万円 2025年1月期 4,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2026年1月期	—				
2026年1月期(予想)		42.00	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の業績予想(2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,492	3.3	1,838	1.6	1,838	0.9	1,274	1.1	119.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみ開示しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年1月期1Q	10,627,920 株	2025年1月期	10,627,920 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年1月期1Q	2,514 株	2025年1月期	2,514 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年1月期1Q	10,625,406 株	2025年1月期1Q	10,625,447 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社Webサイト(<https://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。また、当社は、2025年6月11日(水)に個人投資家の皆様向けに、事業・業績に関するオンライン説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料及び主な質疑応答は、開催後速やかに当社Webサイトで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しております。主要顧客である自動車関連メーカーにおいては、「カーボンニュートラル」の実現に向けたハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車等の開発が活発であり、また、半導体需要の拡大により、半導体製造装置関連メーカーからの技術者要請も旺盛でしたが、足元では米国の通商政策等の影響により、不透明感が見受けられます。

当社の技術者派遣事業においては、技術者数が増加したことに加え、技術者ニーズの上昇基調を受けて稼働率が高水準で推移したことにより、稼働人員が前年同期を上回りました。また、技術者不足、企業の賃上げ傾向に加え、業務レベル向上のため既存技術者の顧客企業を戦略的にローテーションしたことにより、技術者単価が前期から継続的に上昇し、前年同期を上回りました。労働工数に関しては、1日平均が前年同期と同水準だったものの、休日カレンダーの昨年との差異に伴い出勤日数が変化したことにより、1か月平均は前年同期より減少しました。

請負・受託事業においては、積極的な営業展開により、受注プロジェクトへの配属者数が増加したことに加え、顧客ニーズに応じて、技術者派遣から請負・受託へプロジェクト変更したことにより、売上高における構成比が12.5%となりました。

利益面に関しては、採用関連投資費用、IT・DX投資費用等があったものの、売上高の伸長によりこれらの費用が吸収され、前年同期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,847,819千円（前年同期比7.6%増）、営業利益は518,356千円（前年同期比9.1%増）、経常利益は519,789千円（前年同期比9.2%増）、四半期純利益は360,858千円（前年同期比9.1%増）となりました。また、営業利益率は18.2%となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ79,186千円増加し、6,766,831千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少100,993千円があったものの、繰延税金資産の増加73,350千円、無形固定資産の増加41,758千円、前払費用の増加40,567千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ164,575千円増加し、2,144,082千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少121,639千円があったものの、賞与引当金の増加244,657千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ85,388千円減少し、4,622,748千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少85,408千円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ100,993千円減少し、4,487,982千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、365,100千円（前年同期比98,482千円増）となりました。これは主に、法人税等の支払額341,738千円、未払金の減少額112,400千円があったものの、税引前四半期純利益519,055千円、賞与引当金の増加額244,657千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、49,314千円（前年同期比12,214千円減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出45,629千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、416,779千円（前年同期比43,970千円増）となりました。これは、配当金の支払額416,779千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月14日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

現在、米国の通商政策等の影響による景気の下振れリスクが高まっており、顧客企業の業績への影響は少なからず想定されますが、自動車関連メーカーが抱えている社会的テーマ、いわゆるCO2削減テーマ等々に関しては、研究開発費の大幅な削減には至らないと考えております。当社は研究開発・設計開発領域への技術者の配属比率が高いため、現時点で事業への影響は顕在化していません。本年4月の自動車関連メーカーを含む顧客企業全般との契約単価の改定は、前年を上回りました。また、技術者の派遣契約は3か月ごとの自動更新となっており、4～6月の契約終了は、ほとんど見受けられませんでした。

既存技術者の契約更新に関して、5月末に7～9月の更新、8月末に10～12月の更新が確定する見込みです。顧客企業の業績への影響があり、契約終了が発生する場合、タイムラグが見込まれますので、契約終了のリスクが8月末に発生することを想定しております。

また、既存技術者（経験者）が契約終了となった場合、顧客企業においては、経験者のニーズが未経験者より高いため、2025年4月入社の新卒技術者（未経験者）の配属が遅れるリスクを想定しております。

引き続き、リスクを注視しながら、早期の対応を展開してまいりたいと考えております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,588,976	4,487,982
売掛金	1,457,629	1,487,319
仕掛品	4,376	4,284
原材料及び貯蔵品	2,651	2,877
その他	85,769	121,003
貸倒引当金	△8,700	△8,900
流動資産合計	6,130,702	6,094,567
固定資産		
有形固定資産	78,815	78,610
無形固定資産	20,795	62,553
投資その他の資産		
敷金及び保証金	111,741	111,881
その他	345,590	419,218
投資その他の資産合計	457,331	531,099
固定資産合計	556,942	672,264
資産合計	6,687,644	6,766,831
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	366,794	245,155
賞与引当金	223,950	468,607
その他	672,021	712,362
流動負債合計	1,262,765	1,426,124
固定負債		
退職給付引当金	716,741	717,958
固定負債合計	716,741	717,958
負債合計	1,979,507	2,144,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	4,301,729	4,216,320
自己株式	△965	△965
株主資本合計	4,707,371	4,621,962
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	765	786
評価・換算差額等合計	765	786
純資産合計	4,708,137	4,622,748
負債純資産合計	6,687,644	6,766,831

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	2,646,075	2,847,819
売上原価	1,601,951	1,728,872
売上総利益	1,044,124	1,118,947
販売費及び一般管理費	568,864	600,590
営業利益	475,260	518,356
営業外収益		
受取利息	0	42
受取配当金	7	7
受取手数料	146	145
研修教材料	515	436
未払配当金除斥益	483	789
その他	132	11
営業外収益合計	1,285	1,433
営業外費用		
解約違約金	389	—
その他	1	—
営業外費用合計	390	—
経常利益	476,154	519,789
特別損失		
固定資産除却損	—	734
特別損失合計	—	734
税引前四半期純利益	476,154	519,055
法人税、住民税及び事業税	215,823	231,557
法人税等調整額	△70,424	△73,359
法人税等合計	145,398	158,197
四半期純利益	330,756	360,858

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	476,154	519,055
減価償却費	5,383	6,879
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	800	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	217,221	244,657
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,436	1,217
受取利息及び受取配当金	△8	△50
固定資産除却損	—	734
未収入金の増減額 (△は増加)	△624	152
売上債権の増減額 (△は増加)	△126,884	△29,690
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,141	△133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,682	16,822
未払金の増減額 (△は減少)	△92,630	△112,400
その他	86,680	59,345
小計	589,351	706,788
利息及び配当金の受取額	8	50
法人税等の支払額	△322,742	△341,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,617	365,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,972	△3,538
無形固定資産の取得による支出	△5,697	△45,629
敷金及び保証金の差入による支出	△11,827	△140
敷金及び保証金の回収による収入	263	—
その他	△8,294	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,529	△49,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△24	—
配当金の支払額	△372,784	△416,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372,809	△416,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,721	△100,993
現金及び現金同等物の期首残高	4,277,610	4,588,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,109,889	4,487,982

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社の報告セグメントは単一であるため、記載を省略しております。